



牛久栄進高等学校
進路支援部

Crescit eundo



2024年7月22日
通巻176号
文責 中島茂樹

■夏が来た!!

いよいよ夏です。

夏は活気に満ちあふれています。日頃取り組みたいと思っても中々時間が取れない、そんな様々なことにチャレンジできる季節です。

この貴重な夏を『計画的』かつ『有意義』に過ごし、各自のレベルアップに繋げてほしいと願っています。

■危機迫る！ 栄進高校！

『2-2-3』 『3-3-4』……何の値だと思いますか？

☆栄進生の日頃の学習時間分布の最大数をしめる時間数です。(2016~2020)

- ・最初の『2-2-3』は、平日の学習時間の値です。左から1年次生→2年次生→3年次生。
- ・次の『3-3-4』は休日の学習時間の値です。同様に左から1年次→3年次生の値です。

この値は、しばらくの間ほぼ安定していました。しかし2021年度あたりから、変化が見え始めました。それが次の値です。

2021・・・『1.5-1.5-2』	『3-3-4』
2022・・・『1.5-1-2』	『3-3-4』
2023・・・『1-1-2』	『2-2-4』
2024・・・『1-1-2』	『2-3-4』

地球温暖化を示すデータの用に、わずかな変動を伴いながら、確実に変化しています。

☆栄進生の平日の平均学習時間の推移も見てみましょう。(左から1年次生→2年次生→3年次生)

2016~2020……………	116.0-93.6-140.0
2021……………	100.3-88.6-136.1
2022……………	91.1-81.3-134.5
2023……………	90.9-73.6-121.2
2024……………	84.2-67.8-131.2

確実に学習時間が減少しています。特に平日の学習時間の減少が顕著です。

要因は様々なものが考えられますが、そのうちのひとつとして『日頃の課題量の減少・難易度の低下』ではないかと推測します。平日はあまり学習時間をとらなくても、土日に一気にやれば終わってしまうのではないか。その証拠に、土日の学習時間の減少幅は、平日ほど大きくはありません。

では、その結果生まれた時間の余裕を何に使っているのか？
ずばり『スマホ』です。

☆栄進生の日あたりのスマホ利用時間の調査結果を見てみると、
その利用時間分布(平日)の最大数を占める値は、

2018年度……1～2時間
2024年度……2～3時間

いかがでしょうか。明確に増加しています。

世の中は人々の負担を減らす方向へ動いています。もちろんこれ自体は悪いことではありません。ストレスのない生活はとても大切です。しかしその流れに合わせ、『子供達にゆとりの生活を』と称して実行されてきた様々な施策は、『動画配信者』の利益を着々と生み出す結果となったのです。

☆本校の進学実績の推移はどうでしょうか？

年々上昇していた時期は過ぎ、安定の時期からやや下降時期に突入しそうな兆候が見られます。しかし『栄進生の資質』は大きく変化していません。ただ単に『学習時間が減少している』これが大きな原因の一つとなっていることは間違いありません。栄進生はその持っている能力をもてあまし、時間潰しに、『スマホ』を眺めているのです。とても勿体ないことです。

一方、世の中の人々すべてが『動画配信者』に利益を提供している訳ではありません。世の中の流れに惑わされず、目標に向かってコツコツと努力を重ねている他校生・他県生が大勢います。高校で学ぶ内容は、広く深いです。短時間で習得できるものではなく、地道な努力と時間が必要です。そもそも世の中において、短時間で習得できることは、殆ど大したことありません。

☆栄進生の目標として、平日の学習時間(最低ライン)を

1年次生……2時間(主に課題学習により、学習習慣をつける)
2年次生……2～3時間(課題学習＋自分で考えて取り組む学習)
3年次生……4時間～(自分で考えて取り組む学習)

すなわち、『2－2－4』です。頑張りましょう！！
(生徒も教員も)

編集後記

今年も全校生徒による野球応援が実施されました。

猛暑の中、全校生徒が一つになって応援する姿は本当に素晴らしかったです。特に試合の後半ピンチが訪れると、次第に応援の声も大きくなり、一体感が高まっていったように感じます。野球部をはじめ、野球応援に関係した皆さん、本当にお疲れ様でした。

やはり、チーム力を高める最大のポイントは『危機感を抱いた時の支え合いと団結力』ですね。